石桜新聞

発行所
盛岡市仁王田園
岩手高等学校
岩手中学校
出版委員会新聞部
責任者　藤村圭秀
印刷所
岩手日報社

本年度石桜会役員決る

会長に齊藤裕君
権威と尊敬を担う人々

発足以来五年目の新春を迎える石桜会は、去る四月十日、会長を初め新役員を決定、十三日認証を経て即日活動に入った。即ち文化委員会の発案による放送部の設置、体育委員会の発案による屋食の時間に毎日放送します。芸術の秋を飾る文化祭は演劇、音楽の発表、弁論大会、郷土研究、美術、科学等々の展覧会を中心とし、豪華なものにしたいと考えています。又、校友会雑誌石桜の復刊、文化映画の上映、名士の講演会、文芸部、社会研究部の設置等々をも是非実現したい。過去において文化委員会に属する各部が独立しているので協力して文化活動を行った例は余り見られませんでしたが、今年は放送を始めとして各部が協力して文化活動を活発にしたいと思っております。

（生内文化委員長）

光栄ある伝統を築き上げた体育部の代表として恥じない新しい委員会の皆様は、連日練習の中に日焼けした顔を発足以来見せてくれるのは嬉しい事です。今年こそ四国の地に覇を唱えるのも夢ではなかろうと思います。

この様な希望を懐く時、私の様な未熟者を選んでくださいましたことを感謝致しますと共に今後は出来得る限り努力し、また精進致す覚悟であります。よろしく各委員の皆様、又各員の皆様に御協力を御願い致します。八百の健児の中の一部である部員それでありながら本校独得のファイトフェアプレーそれに中学二年からの協力力もチームワークは誰が上にも本校石桜会の名を高めるものと思う。県下でも総合は上位だ。今年こそ皆様の御健斗を祈御願い致します。

（岩脇体育委員長）

柿木君

照井君

斎藤君

部設置について討議の結果、委道は、ここに選出された諸君は多数の中から選ばれた権威と尊敬と信頼する人物であり、それ故これらの人々は会校生徒の、そして友愛の団体たる石校会を、学校生徒たる本分に基いて民主的に指導してゆくべきである点を強調された。

藤村君

栗谷川君

岩脇君

生内君

総務委員会
委員斎藤裕、副委員長原健、黒川元佐藤克。▽書記小川義一、村田篤司、橋総、小林指揮。▽会計有坂晃一、斎藤進、生内恵、小野敬卿。▽委員安原洋雄、中村勝美、小笠原忠治、金子卓嗣、熊谷実、鎌田耕一郎、高橋功夫、平井衛、畠山勝山屋彰男、高橋裕、小島正明、畠山清勝。

生活委員会
委員長照井哲、副委員長館沢直幸川村繁治、委員荒木繁、石岡勇、晴山一正、田鎖朝夫、広田英正、菊地義男、武田忠一、山本正典、高橋春光、沼倉利一、松橋健伍。▽指導係日野岳浩先生。

学習委員会
委員長柿木茂、副委員長小林公平千葉勤、委員蒲山龍雄、鈴木健治

今年の抱負

論説

総務委員会：一見イガメしいの名故に其処を緊張した、いや、より以上に其処はコチコチに固くなって、発言した者は思わず赤くなる——そういった雰囲気を作ったのは誰ですか……。勿論、委員諸君である。総務委員会は誰もが自分の意見を自由に討論し、そのディスカッションそのものが直接に生徒の世論となって行くのである。だからその一言々々が貴重な事はもとよりであるが、それにとらわれて発言も滞り勝ちになってはならないのです。

次に総務委員会に限らず何の委員会でもいえる事であるが、各委員会で決定したこと、及びその活動について、よりよき理解と批判が会校生徒によって行なわれてもらいたいものである。いうまでもなく開放民主々義において最も必要なのは〝批判〟である。良識の上に立った正しい批判が望ましい。

（斎藤総務委員長）

近年本校の体育は全般的に向上の跡が見られますが、その反面、文化活動は低調になりがちなので今年は文化活動を盛んにしたいと思っています。今年度より文化委員会の管理で放送クラブが正式に発足しますので、放送を通じて文化活動を常時行う予定です。

プログラムの予定は音楽、映画紹介、放送劇、各部の研究発表、誌昔案内、スポーツニュース等多彩多様、趣味のテープレコーダーを極め、盛会裡の完備を実現し、放送室の完備を実現し、

佐藤氏会長に就任
本年度PTA役員決る

去る三月二十日のPTA総会及び学級会並びに、四月十日の学級各部会において今年度のPTA役員が次の様に決定された。

▽会長＝佐藤朗
▽副会長＝佐々木貞雄、植本四郎
▽総務部長＝山鎗高悦
▽文化部長＝田村喜男
▽厚生部長＝藤沢省三
▽指導部長＝中村松秀
▽事業部長＝塚沢虎五郎
▽監査委員＝長沢専次郎、田鎖次郎、矢羽々政朗

新会員を迎えて
我等の覚悟

佐藤　朗

希望を胸に新入学の一九七名を迎えて四月十日入学式が行われ、新しくPTA会員となられた御父兄の方々に心からお喜び申上げますと共に所信の一端を申述べ歓迎の挨拶と致します。

本会の目的は、会則で定められておりますが、一般に父兄を持つ私立学校である本校はPTAの組織が必要であり、又PTAの活動が本校の発展に重大な関係を持つ事は申すまでもありません。

PTAの活動は本年度より実施せられた本校高等学校への新規募集制度の問題に対する我々の協力態度であります。過去六年六、三、三四制実施以来本校高等学校が体験した教育経験を考える時、私は常に本校の教育方針たる中学高校六ヶ年の一貫教育の必要を感じて居り、その実現を心ひそかに願って居りましたが今回学校当局の重大な決意と理事長の決断により、この重大方針の決定した事に敬意を表すると共にこの大方針を結実させるためには会員としても特段の努力と協力が必要であります。即ちPとTが一致団結して、その目標に邁進しなければなりません。指導部活動は生徒の情操教育と会員相互の社会教育であるとして、その実施に当っては第二円満な家庭を持つ私立学校である本校の特質を充分考慮して、会員諸兄の御協力を願います。

校外短信

▼豪華な学園
金沢の北陸学園では先般米国より資金が送られて来校舎を建設したが総工費七千万円、建坪二千坪のスマート近代的鉄筋コンクリート造りで、地上三階地下一階昇降にはエレベーターを利用し、映写室、食堂、社交室もあるという夢にでも見そうな建物アア……。

▼まかり出ました落第
仙台一高の某数学教師は授業効果向上を目指して質問に答えられない生徒に歌を歌わせる事にした

重畳、歌謡曲は勿論、浪曲までとび出して教室の雰囲気を和らげた

その結果生徒が勉強するようになったとか、しなくなったとか。

▼恐るべき数
神戸市のある高校で先生方の週刊、早退の調査をしたところ十九月間になんと五十八時間三十五分、五十分授業に換算すると七十時十五分、一日六時間十五分という恐るべき事実が判明した生徒もこうなると言うべばかりいられないですそ。多い自習時間を善用するんですな。

▼貧品より顔が大事
一女高では雨のために運動会が予定日より一日おくれて行なわれた。その日は好天に恵まれ

サンサンと降る初夏の太陽を全身に一日中浴びて生徒達はすっかり陽にやけてしまった。（ことに顔）。そこで問題には『われこそは精々の貧品を』と意気込んでいた人々、今度は貧品よりは顔が気になると大さわぎであった。

▼谷崎潤一郎が第一位
某女子高校では三年生を対象に現在活躍している小説中誰を好むかという世論調査を行った結果は次の通りである。

谷崎潤一郎（五八）石川達三（二八）犬伏次郎（二一）石坂洋次郎（二八）丹羽文雄（一一）志賀直哉（一〇）草木吉含子（一〇）

学校行事予定

開校記念日　五月二十日
追試験　六月五日より
前期中間考査　六月中旬
高校　中ノ　テスト　七月上旬
夏期休暇　七月二十一日より

高橋孝司、阿部久孝、細川勝男、道上尚一、伊沢光男、生子武治、湘潮信一、阿部久知、本間正彦。

▽指導係鈴木健郎先生。

出版委員会
委員長藤村圭秀、副委員長関久男斎藤雄、委員中村勲三、吉田功栗橋保之助、後藤康文金福勇、山岸道利、佐々木久夫、大竹悦昭、福井金男、駒井康男。

▽指導係織藤貴史先生。

図書委員会
委員長栗谷川昌三、副委員長佐々木力男、山田修一、委員釜沢敏郎井上保雄、畠山弘司、北村二一、村木栄彦、瀬川祐、野崎勝紀、鈴木敏一郎、重彦佳伸。▽指導係武田彩吉先生。

文化委員会
委員長生内宏一、副委員長岡田三男、宇土沢広司、委員＝井論原健郷研東海林道夫、科学意原雄吉、英会話斎藤裕、美術細川誉夫、音楽佐川盛一、演劇岡田三男、映画生内宏一。▽指導係小笠原哲治先生。

体育委員会
委員長岩脇章夫、副委員長北田一平、佐藤亮、委員＝幽霊岩脇章夫水沢照井哲、庭球坂下陽市、卓球後藤文章、籠球餅田隆、排球石塚真吾、ラグビー吉田峻、送球大年

＝校務分担＝

◆校務運営協議会　学校長　山中
◆校務連絡員　教頭　遠藤、日野岳、柴内、鈴木、吉田、赤石
◆校務主任　山中
▽BRO　遠藤、吉田、小原、川股、根田、高橋
▽CO　鈴木、淵沢、川股、柏木、戸鳴、小笠原（哲）、遠藤
▽HRS（カッコ内は学年係）
3A小笠原（哲）3B吉田、3C柏木（千田、山中）2A足沢2B日野岳、2C遠藤（武田、小林）、1A鈴木、1B小原（淵沢、小山）、三甲川股、三乙川、三丙柴内（池野、照井）、二甲根田、二乙西在家、二丙加藤、（細川）、一甲戸鳴、一乙景山、一丙高橋、（及川、小笠原、雅）
▽教務部長　吉田❶割当係、小笠原（雅）景山、❷図書係　武田、淵沢、及川、❸教務教材係　細川、小原、照井❹行事係　遠藤、戸鳴、日ノ岳
▽指導部長　日野岳、❶指導係　小笠原（哲）吉田、柏木、遠藤　鈴木、柴内、根田、戸鳴、❷進
▽寮務部長　吉田❶割当係、小笠原（雅）景山、❷図書係　武田、淵沢、及川、❸教務教材係　細川、小原、照井❹行事係　遠藤、戸鳴、日ノ岳
▽指導部長　日野岳、❶指導係　小笠原（哲）吉田、柏木、遠藤　鈴木、柴内、根田、戸鳴、❷進
▽寮務部長　吉田❶割当係、小笠原（雅）景山、❷図書係　武田、淵沢、及川、❸教務教材係　細川、小原、照井❹行事係　遠藤、戸鳴、日ノ岳
▽指導部長　日野岳、❶指導係　小笠原（哲）吉田、柏木、遠藤　鈴木、柴内、根田、戸鳴、❷進

学校小笠原（哲）吉田、柏木
職業係、小笠原（哲）吉田、柏木
▽厚生部長　戸鳴❶体育係　足沢、古川、❷保健係　柴内、足沢、平野、❸リェクレイション係　小笠原（哲）、川股、鈴木佐藤、❹整備係　平野、小山、古川
▽既務部長　柴内❶文書係　武田、小林、❷用紙係　加藤、西在家、❸統計係　千田、池野、高橋
◆事務主任　赤石
❶事務係　菊地、❷会計係　赤石、❸施設係　平野
◆寮務主任　戸鳴、❶寮務　戸鳴
◆PTA関係
▽学校側理事　小笠原（哲）日野岳、鈴木、柴内、西在家、戸鳴
▽各部
総務部　遠藤、赤石、吉田
文化部　小笠原（哲）武田、小山、柏木、小林
厚生部　戸鳴、足沢、古川
指導部、日野岳、小笠原（哲）
鈴木、柴内、根田、戸鳴
事業部　平野、小原
書記　柴内、菊地
会計　赤石

▽進学状況△

最近四年間卒業生の進学、就職状況次の通り。

△東京大　理一　福田村寿
△早稲田大　法科村上昇
▽東北大　工学部福田明、経済学部木下克己、教育学部原利昭
▽明治大　法科吉田徹、文科村田

眼は智識の窓
メガネは能率の泉
大切な眼を正しいメガネで守りましょう
メガネ専門　水晶堂
本店　盛岡市中ノ校通り
支店　盛岡市中劇通り
電　六三三
六八八

▽鴛信、薬科熊谷壮一郎、工学部工藤祐吉、小曽根朗夫
▽法政大　経済学部浅沼洋之介、藤原幸三
▽立教大　経済学部関田瑞夫、小笠原達夫、安田広次、理学部升田忠樹
▽中央大　法科熊本武、商科佐内常夫、高橋哲夫
▽日本大　文科吉田弘悦、経済科中村昭男、芸術科村井良和、（不明）高橋芳徳
▽東洋大　哲学科藤村茂彦
▽青山学院大　商科菊池祐治
▽千葉工業大　篤郷邦
▽東北薬大　工藤康之
▽弘前大　教育学部野美
▽中野高等無線学校　関口太郎
佐々木靖、西川昌巳、小林和朗
▽岩手大　学芸学部中一郷、菊池重夫、吉田益人、大山信雄、木村繁之、野村道夫、岡一嘉、中山利彦、藤沢祐之、吉田敬蔵、農学部　佐々木二彦、渡辺真由美、細谷守良、谷村信一、米倉陽司、藤村欣次、小林正一、工学部　伊藤誠重
▽東北電力＝佐々木義則、鈴掛良雄、▽岩手銀行＝川村健一、▽富士製鉄＝小武方信一

（四月二十日現在まで判明せるもの）

授業料改定
月額千円に

本校では現今の物価高騰に依って学校経営に多大の影響に困難を来たしたので、止むを得ず、在来の月額八百五十円を新たに一千円に増額する事に決定した。なお納入は必らずその月内にする様、学校当局では厳重に

＝春のスポーツ用品＝
取揃えました
スポーツ用品と服装の店
藤沢体育
市内　材木町
電話四三二番

若さ日の旅衣

修学旅行の記

四月十七日晴、午前中買物に多忙を極め、十二時にバスで駅に向う。全員百三十三名は校長先生を初め諸先生方や上級生多数の見送りを受けて同十二時五十分発上野行で一路上野へ。車中での第一夜は徹夜の大騒ぎ、上野着。東京駅で乗換えて東海道本線は二見ヵ浦へ向う。小田原附近は黄に霞む見渡す限りの蜜柑畑である。飽かず車窓からの眺望を楽しんで居ると、右前方に麗峰富士山の姿が現われ湯河原から熱海にかけて海が見えた。丹那トンネルを過ぎ、鰻で有名な浜名湖をも後にして汽車は十八日三時十五分に名古屋に到着す車内から遥かに中日球場が黒い観衆を収容して居るのが望まれた。駅で手に入れた新聞に国鉄対広島の一戦とあって、野球好きの自分には唯、通り過ぎたのが残念であり、口惜しかった。亀山のあたりまで来ると車窓からの眺めは黄一色の油菜の花盛りである。東北地方では見られない、そして此処ならではの優美な世界である。七時二十余分目的地二見ヵ浦に着く。今秋の宿所の紅葉館なるホテルに入って直ぐ食事を摂る。後、九時半までの自由行動に各々街に散って行くが市内の道路は両側の土産品店の並立に狭くなる位である。宿に落着いても未だ車中に居る人の様にふらふらする。長い車中であったが皆至極元気だ。第二夜を結んで十九日朝食前に浜に出て、かの有名なる夫婦岩の前で写真を撮る。八時五十分内宮参拝、次いでバスにて外宮に参拝し全員記念撮影をする。参拝人が非常に多く神聖な雰囲気、清々しい風景も格別だが全般的に我々の期待を裏切った感じ。後、宇治山田駅から京都行の急行電車にのり、途中乗換えて奈良に着く。此処で吉田屋旅館に落着き、自由行動を五重塔見物に、鹿と並んで写真を撮ったが日曜と相まって凄い人出だった。若草山、大仏殿等その他各所を見物し、二十日十一時京都に向う。同じ歴史的古都でも奈良とは全然その趣を異にする京都府中は割合大きなビルが多い町で、また広く足が痛くなる程歩き廻ったが、二十一日観光バスで三十三間堂、清水寺、平安神宮、銀閣寺、京都御所、嵐山等の史蹟や建物を次々に見学、御所は非常に美しく素敵だった。

大阪は観光バスで見物したが、大工場が多く黒煙が大阪全体の空を覆って居た。ラジオで衆知の上方演芸会、アチャコ青春手帳を生んだBKのビルや、道屯堀などもあったが、印象に残るものに豊太閤の大阪城の偉観があった。五時十分急行で鎌倉に向う。車内がひどく混み、一睡もせぬ者も現われて露座の大仏等に満足した丈だった。十二時に最後の目的地東京に行く。さすがは日本の首府東京である。その交通の頻繁な事、車の流れが絶え間なく、初めて東京を踏んだ者には一驚また頭痛の種であったろう。AB両組は福島旅館C組は福井旅館に定まり、昼食後自由行動で、或者は後楽園、銀座或者は上野公園等様々であった、その後九時半都内デパートめぐりで僕達は三越を初め、白木屋、松坂屋等を廻り、三越ではパイプオルガンの妙なる音に旅の疲れをいやした。八時ころ一時小雨があったが之は最初にして最後の旅行中の降雨だった。

二十三日の七時三十分都内をバスで見学したが歩いた所は二重橋国会議事堂等で二重橋では記念撮影をしたが、我校以外にも多くの修学旅行団が附近を消遥していた十二時理事長を訪問する。屋上で御馳走の歓待に会い、すくなからず面喰う。五時上野駅集合前の最後の自由行動五時間を、浅草、銀座や新宿等に費して、お互いにその短かい時間を嘆ずる程に何々ブラ気分を味った。上野駅集合には皆負けず劣らずの手荷物持ち。

今年東大に入学された田村さんを初め、その他各大学生の縮石、吉田、柴田、村井さん等の先輩の見送りをうけて愈々、東京を後に一路郷土へと帰途についた。

二十四日十一時三十三分懐かしの盛岡に到着するや、出迎えの山中先生、諸先生方や上級生に囲まれて盛岡の土を踏んだ。引卒で苦労をされた先生方に一言、御苦労様でしたといわせて貰います。なおここにいい残したことを拾ってみるとあちらは朝夜の気温が低く寒い程であったが桜も奈良などでは大部葉桜に変って居て熱海では既につつじや木蓮の花が咲誇って居た。大変空腹を感じ諸処の見物から帰って来た足で宿に帰ると粘り気のない米飯が待って居る。食う気になれない。良いのはおかず類である。何といっても気楽で自由に見物出来るのは自由行動の時に五重塔等のあたりでグループ写真を撮ったりして大いに楽しんだやはり、修学旅行は若い日をかざるものであり、ひいては一生の思い出ともなるものですから、成るべく多く行って貰いたいと思う。

二C　北田記

ホーム ルーム

役員きまる

去る四月九日昭和二十八年度ホーム・ルーム各役員の選挙が行われ次の通りに決定した。

❶議長❷副議長❸書記❹会計❺生活委員❻学習委員❼出版委員❽図書委員

高校

三A❶斎藤進❷小川義一、木下彬❸岩脇章夫、三上達夫❹及川省二、道上保❺荒木繁、遠藤英造、立木正勝、三浦正憲❻小林公平、藤田雄平、深井泰博❼関久男、唐理、村田喜之、赤坂雄蔵❽釜沢録郎、関村弘志、佐々木哲夫、加賀昇。三B❶安原洋雄❷宇夫方康夫、田中節雄❸和田英光遠藤三樹夫❹阿部喜光、浦山輝雄❺石岡勇、田上仁、阿部喜光❻浦川輝夫、安原洋雄、田中節雄、藤沢一美、宇夫方康夫❼中村耕三、中村弘、斎藤公志郎、❽佐々木力男佐久間茂、大上制吉人。三C❶斎藤裕❷遠藤政二、原健❸岡田三男村井輝夫❹蒲沢忠仁、有原正己❺照井哲、石田晧、生内宏❻柿木茂松野淳一❼藤村圭秀、上斗米隆夫❽栗谷川昌三、菅原雄吉

二A❶中村勝美❷小笠原忠仁、箱石介造❸高橋喜孝、野崎宏❹藤原義民、岡本源一❺晴山一正、鳴海千代則、大坪明夫❻鈴木健治、五十嵐卓、八重樫栄❼吉田功、熊谷剛好、谷水松之助❽長谷部保、木村重治、田沼斉。二B❶金子卓嗣❷熊谷実、村井健祐❸堀田保夫、佐藤栄三郎、❹川村久明、山田修功❺館沢直幸、村井庫吉、柴崎祐豊岡永二郎、豊山成春❻高橋孝司横沢茂雄、田村秀雄❼栗楢保之助佐藤昇、長内貞之❽山田修功、及川淳、遠藤哲哉。二C❶黒川元❷酒井正雄、鈴木還日❸小林隆、昆野一男❹植木務、小笠原吉朗❺田鎖朝夫、滝浦敬二、千葉森哉❻阿部久孝、熱海宏告、村上猛❼吉田栄一、大矢平治、古川知義❽土村金雄、小沢竜生、一官貞孝。

一A❶鎌田耕一郎❷高橋功夫、菊池啓治❸小野泰三、久松良助❹森重実、小林誠穂❺広田英正、吉田康男❻細川勝男、坂下護二❼後藤康文、山田茂❽井上保雄、松木和男。一B❶平井衛❷田中義男、畠山晃❸吉田哲雄、小泉務❹関本一幸、鈴木輝夫❺菊池義男、岩間健治、小野寺宏、堀孝範❻道上浩、小泉洋、吉田勝彦❼金福勇、角掛勝彦、近津義一❽畠山弘己、大星雄三、景山泰孝

中学

三甲❶橋総❷宇土沢広司、小枝指博❸青山晧一、村川吉兵衛❹熊谷泰彦、山崎信雄❺武田忠二、府金利宏、田村命保、本間幸男、千葉浩❻伊五沢光男、太田和夫、藤原一広、青木功❼山岸道利、高橋章、昆義光、吉田敬❽北村一二、猪狩重雄、山口忠七郎山田耕三、三乙❶佐藤克❷小野敬郎、田鎖敬三❸寺沢善勝、似田健吉❹井上孝一、久保田和彦❺川村繁治、平田雄之助❻千葉勤、岩淵茂一❼佐々木久夫、伊藤康男❽村木栄彦、岡本雄二。三丙❶田沼重雄❷生内忠、照井誠三郎❸細屋正勝、磯崎公一❹葛西正美、高砂子祐平❺山本正典、井上大之進、沢村広美、松岡弘❻庄子武浩、加藤宏志❼斎藤康雄、吉田重雄❽瀬川祐、三浦五郎。二甲❶佐藤哲郎❷高田勝弘、畠山勝❸松岡直彦、徳田栄❹菅野恒治、門馬司❺高橋春光、佐々木利之、富山訓志、金野浩、川原功六❻泡淵信一、川村文雄、古館正虎、平井敬久、江刺博❼大竹忠昭、田中秀雄、前川兆、安部昌平、高田一明❽野崎勝紀、藤沢佶三、相馬光政、堀合誠、佐々木利夫。二乙❶山屋彰男❷小松貞一、高橋裕❸千代川泰久、赤坂貞一❹北山森之助、千葉勝之❺沼倉利一、高橋巌❻阿部久知、菊地光男、池野正幸❼福井金男、熊谷直美、東司、佐藤勝久❽鈴木威一郎、中野源三、二丙❶畠山清勝❷小島荘明、本間正彦❸駒井康男、篠村幸一❹城戸孝彌、長谷川巌❺松館健伍、佐藤昌弘、和久井恒雄田口昭則❻本間正彦、林岑生、畠山清勝、小山田紀一郎❼駒井康男馬場英彦❽東茂佳伸、小川肇、田村光一、日向政人。

(中学一年は未定)

図書館建設 工事始まる

噂だおれになるかと思われていた図書館建設が、この程、実現の運びになり早くも去る四月十五日から工事に着手し初めて、現在土台の完成を急いでいる。

この建物は奉安殿跡の空地と、旧屋外籠球コートに跨る大きなもので鉄筋コンクリートの二階建てという素晴らしいもの。

総工費は四百五十万円位の予定だそうである。なお、この資金の大部分は理事長の寄付によってまかなわれる事になっている。

建物の内訳は、一階の六十余坪に閲覧室、書庫、ゼミナール用室(特殊講議室)が設けられ、二階四十坪は書庫に当てられる。

完成予定日は七月三十一日なので、夏休みが終って我々が校門をくぐった時には既に完備された壮麗、スマートな建物が我々の利用を待っている、ということになるわけである。

この様にすぐれた図書館が本校に生れるのであるが、我々の図書への関心と読書への意欲は果してそれに応えられるだろうか。全学問は自習で効果も上り、またそうあらねばならないが、それに対して不可欠なものは書物であり読書である。図書館を遊ばせてはならない。

職員移動

新任

加藤長俊先生　社会担当
仙台市立商業学校を卒業して、東京電波株式会社に入社、その後旧制中央大学を卒業されて今日に及ぶ。

泉山雅男先生　数学担当
岩手県紫波郡不動村出身、岩手県立杜陵中学校を卒業され、岩手医大医科学教室に勤務、後に岩手師範学校入学、一身上の都合により中退、岩手大学々芸学部甲一類を卒業された。

高橋精四郎先生　英語担当
岩中、高校を卒業、岩手大学々芸学部甲一類卒業後、我校の教師となる。

西在家寛先生　英語担当
岩中を卒業後、紫波郡志和中学校に教鞭をとり、慶応義塾大学文学部を通信教育で卒業された

及川篤夫先生　国語担当
一ノ関中学校卒業、岩手師範入学、岩手大学々芸学部甲二類卒

照井政夫先生　数学担当
盛岡中学校卒業、秋田県横手専門学校採鉱科を卒業され函館市大谷高等女学校教諭勤務後、県立工業高校に勤務、釜石製鉄に勤務、その他略。

船越義雄先生　数学担当
盛岡中学校卒業、秋田鉱業専門金属工等科卒業後、三菱重工業名古屋発動機製作所に勤務され不来方中学校に教鞭をとり、下小路中、杜陵高校の教鞭をとられて今日に至る。

離任　(括弧内は移動先)

斎藤松次郎先生（加賀野中）
浦田敬三先生（杜陵高）
宮永竜雄先生
佐藤幹男先生
照井力先生（京都）
佐々木正太郎先生（長内村）
中村八兵衛先生
小松代融一先生（杜陵高）
末広忠雄先生（北海道）

放送クラブ 設けらる！

昭和二十八年度の合同委員会は四月十三日合同教室において行われたが、その席上、文化委員長から、放送部を設立してはとの意見が出て、討議され、その結果、多数の賛成者があったが、学校側から、部を編成するには、一年間の活動状況の実績がなければならないとの言があったので、部としないで、まず放送クラブとして発足することになった。

そのプログラムの内容は、交響曲レコードの解説、軽音楽の解説ラジオドラマ、映画紹介を一週に各一回三十分ずつ、科学研究発表及びスポーツニュース、生徒の言葉などを、一週各一回十五分ずつの予定で、これを時間割にくみたて学校生活をより良い方向に進行するようにする。なお放送クラブ員は現在いないので、さし当って文化委員がこれにあたっている。

田上、泉沢両君 二児の命を救う

高校三年B組の田上均君と二年A組の泉沢敬三君が人命救助で表彰された。

それは、去る三月三十日午後四時ころ紫波郡志和村滝名川、志和橋上流の河原で同村上平沢、斎藤さんと隣家の田口さんの幼児が遊んでいた際、ふとしたはずみで雪どけの濁流にアッという間にのまれてしまったが、付近を通行中の前記両君が折から降っていたみぞれの中を制服のまま飛びこんで二人の幼い命を救ったもの。

この勇敢な行動により二児の貴い命が救われて、村の人達は両君に大変感謝している。

断言

三年になったら運動不足にならないという帰納的な話。高校三年生は理科、社会、数学は選択によってあっちこっちに流浪の民。おかげで、ともすれば運動不足になる受験生諸兄?も生理的にうまく行くという……。誰です、過運動になるなんていうのは

◇　◇

A先生の離任式が終った後、B君曰く『へえ、あの人がA先生か』無理もありません。就任式の時と離任式の時との二回しかお目にかかったことがないというんですから……。

◇　◇

全く先生の移動が多過ぎます。

◇　◇

落し物が要らないなんて、この学校の生徒諸君の御家庭はよっぽど御裕福で遊ばされます様で結構で御座居ます。いっそ競売にしたら如何なもんで……。

◇　◇

愚劣な映画が多過ぎますね、〝村八分〟。批評がどうあろうと高校生には必見の映画でした。良い映画を見ると、今までの映画が益々劣って見えます。これは本当の事なんだから仕様がありません我校の生徒は低俗な映画を好まないでしょう?

◇　◇

放送の時間に落語をやれえ!

☆特選学習ノート
★高級学習文房具
中学生・高校生の店
木津屋文具店
盛岡市材木町
電・二四〇番

素的によく写るカメラ
850円から在庫豊富
カメラの店大通り二丁目
田口写真店
電話 1447

校章入りノート
平金商店
盛岡市肴町角　電 48 3048

各種靴専門
合資会社 中村ゴム分店
盛岡市茅町四六
電話二三[illegible]
小売営業所　市内中ノ橋通銀座

優勝を目指して

体育各部　今仕上げに懸命

富山には未だ白雪が残っているものとはいえ五月ともなれば木々の芽と共にスポーツの花が開く。この頃、春陽の下に練習に励む体育各部を訪れ、また昨暁生の御意見をも参考にして今年度各部の活躍状況を予想展望して見た。

◎硬式野球部：至宝小武方投手、ならびに石川、柴田、吉田のクリンアップトリオを送り出してスケールは少くなり優勝は困難と思われるが、北田主将を先頭に全員が全国的水準に達しておることも特筆しておこう。

◎陸上競技部：佐藤、瀬川、中川と部の主軸を失い、しかも部員が少数であるため今年は期待出来ない。唯、中で期待されるのに、岩崎、南黒沢、長谷川等が挙げられる。なお、部員ではないが有坂、久慈等が参加すれば相当の所まで行くに良いだろう。な お投擲では得点を重ねることであろう。

◎庭球部：卒業生の痛手も全然なく、相当有望視される部である。坂下、浦田組は一年連覇記録出場というベテランであるだけに、今年も県大会優勝は間違いなしである。この二人に続く組として伊藤一宮、中学NO1の坂下（弟）、阿部の両組があるが、もう少しの研究と練習量が望みたい。

◎排球部：キルーNO1の野村を送ったのは痛手といえば痛手であるが、新人田中が最近著しい進出をしているので凌しまれる。前衛陣のコンビには試合経験もあり体力もあるので他校には劣らない。中衛陣はOの清沢の退部が惜いでおり、穴を埋めるのが田上か豊川になろう。後衛陣はもう少しの練習量がほしい。とにかくチームワークさえよければ上位入賞は確実である。

◎ラグビー部：昨年ベテランをよく揃えて臨きながら、恩わぬ所で惨敗したのはチームワークが足りなかったのが原因とされる。今年は昨年の二の舞を踏んではならぬと戸畑、吉川先生の下に懸命に練習しているから期待される。とにかく今年は大物がいないが粒が揃っており、FW陣も強く伝統もあるので会校往復の注目の的である。

◎籠球部：吉田（益）以下三名の中軸を送りスケールは小さくなったが、部員が多く合宿での成果も可能と見られる。個人的には久慈、鎌田、阿部、小野寺等が健実なプレーをしており期待される。

◎送球部：いわゆる万年優勝候補で今年も優勝候補から。とにかく卒業の風当りも小さく、大半の選手が試合経験も豊富であるので、真面目に多量の練習をすれば優勝も可能である。

◎体操部：村上のようなすばぬけた選手がいないが、粒が揃っており個人的より団体的の方に望みをかける。個人的には高橋が優勝候補の一人に数えられている。中学では各自、相互の間において断じて蛇蝎視されねばならない。軽蔑されねばならない。

次には映画の件だが、これも過去の学校では見ることもなく、同僚の先生方の話題にも上ったことがなかった。未成年期の喫煙が、如何に肝臓及び、悪影響を及ぼすかは明らかである。

昭和十五年の秋である。県下の中学校の上級生が、同一列車で、関西方面に修学旅行したとき、本校ではなくて、他校の生徒が車内の一隅で先生の目を憚りもせず、喫煙しているのを見て私は驚いた。これは組織の不正行為と共に、私を驚かせたものの一つで驚ろく恩義に感じた程である。私は軍隊で軍事を習えたのが始めであったが今の後輩の一つである。好奇心や大人振りの度い動機からだろうが、大志を抱く者は、その軌道に乗るまで、止めているべきである。諸君の純れる声を聞くまでは。

柔道部設置さる！

昨年までクラブ員の僅少をかこって居た柔道クラブは、今年四月に至り新たに部員多数を得、兼ねて待望の部昇格案が四月十三日の合同会議において、愈々本極りとなって実現に至り、部員一同非常に張り切って居る。

部員内訳は高校十数名、中学二十数名の計四十余名で、本年のホープとして期待される高3三上、高2鷹野を始め、新鋭として目される高2吉田が名を連ねて居る。なお、目下部員は好成績を目指して毎日体操部隣接の部部室で猛練習を続けて居るが、それにつけても道場の拡充並びに良い設備が要望される。

新テニスコート誕生す

本校と庭球部外の道路に隣接する二田民所有の畑地に、昨年よりその新設を内々計画中であった所の新テニスコートが四月下旬に完成された。

国立スコートは、テニス大会保健体育の時間等に利用するために以前から、本校庭球部『大空会』の先輩藤井省三氏（第三回卒）、吉井重良氏（第四回卒）戸鳴正夫氏（第二回卒）平野哲郎氏（第四回卒）、坂下貞三氏等を主体として計二十五万円の予算を作成し、理事長にお願いして同地を借り三月下旬より着工を始めていたものである。

市内一周継走

スポーツの季節を迎えて四月十二日、県高体連、県陸協、盛岡市体育会、岩手日報社共催の第八回盛岡市内一周継走大会が午前九時日報社前スタートで開始された。一般、高校の混走レースで、本校選手もこれに参加し、沿道の声援に励まされて良く健闘したが、力及ばず一敗地にまみれ去った。

その成績、並びに出場者は次の通り。

◇高校の部

❶福岡高B、❷盛岡商、❸盛高

⑯岩手高

◇出場者

高橋清逸（二年）藤村秋夫（三年）中村勝美（二年）及川省治（三年）長守川守（二年）

歌枕の意

小林博

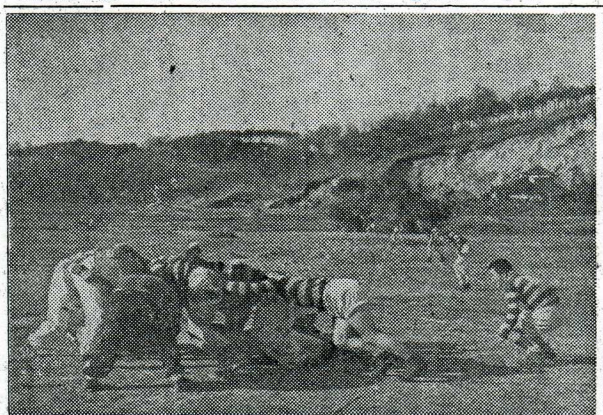
画　柿本茂

二昔前のお話し

十年と一昔というが、二昔前り前の話である。ある医学に関した専門学校の入学試験の国語の問題に、『歌枕』という問題が出た。志願者の大部分は歌を歌われた形で大部分は出来なかった。『歌枕』といえば多数の有名な歌人の題材にした『名所』のことで、須磨、明石、田子浦とか、東方では隅田川、末の松山などの類である。

ところが答案を見ると、これを『枕詞』と間違えた者もあったがその外は『目医者』と書いた者が圧倒的大多数で、中には『眼科医』などとシャレタ者があった。試験結局、自発的にその父が転校させた。学校の名誉、校風を傷つけるというので、同僚や、上級生に問責されたのを恥じたのであろう。

過去の四校の所在した府県は、戦前（アヴァン）の時代であった為か、今のアプレ（戦後）には、あるいは変ったかも知れない。併し私が本校に来た時は未だアヴァンであり不正行為は本校のみならず、近隣の学校にもあって愚息も驚いて来た。これは不正行為が珍らしくないため、大した恥とも思わない空気が出来、『善を責むるの一隅で先生の目を憚りもせず、喫煙しているのを見て私は驚いた友情に反するのと思うような誤った考え方が、積って今日の悪風を助長せしめたものと思われる。この悪風は次第に良心を麻ばみ、『習慣は第二の天性』を作り、恐ろしいスリルの練習は、学力を次第に低下させる。イザという実力競争のコンクールや、国家試験では通用しないとの忌むべき風習



五行アンケート

一、趣味
二、愛誦書
三、好きな食物
四、尊敬する人物
五、自慢出来る物事

こだま

中三の諸君へ

中三の諸君！一寸申しあげたいことがある。諸君はいわんまでもなく、中一の上級生であり、小学校を卒業したばかりのオトウト君達に、手本を示さねばならない上に、影響力は、甚大であることは自他ともに許すところだと思う。このようなことを考える時中三の諸君には、おのれの一挙手一投足を慎重に考えてもらはなくては困る。

今のところ、あるか、ないかは未だはっきりしない。とに角、過去六年間を見るに、諸君の教室へ の闖入は、岩手高校、中学校の中で一番オミの多い。砂の多い、土の多い所である。何となれば、校内で最も土足人の多いのは、中三であるからである。確かに下駄を脱いで上るよりは脱がずに、上る方が楽だろう。その上職員室には一番遠いと来ているし、この学校にも、もう三年目、そろそろ上級生ぶらき振舞をしてみたくなる頃でもある。何となく土足で歩きたくなるのも無理からぬことではあるが、諸君、ここで一つ考えてみたまえ、砂の多い、ゴミッポイ部屋で勉強するのとホコリッポイ部屋で勉強するのとキレイナ、とまでは行かなくとも砂のない部屋で勉強するのとの相違を！

それに加えて、諸君の一挙手一投足が職員室に影響することを——

三年組では諸君も高三になる。そして過去を振り返れば、何も馬鹿なことをしたもんだろうと思う自分で自分の部屋を汚したんだから、誰を恨む道だという。けれど通らず、よりよくなれるんなら、それに越したことはあるまいと思う。　高三（歯無劣兎）

旅行の季節来る！
各種カバン在庫豊富
盛田カバン専門店
盛岡市大通
電話一〇二六番

五月六日＝十日
赤い百合　阿波の踊子
十一日＝十五日
大仏開眼　トンチンカンまぼろし女
今月の上映予定
生きる——東宝
瞳の町——RKO
千羽鶴——大映
虎造の荒神山——東宝
剣豪三十六騎——大映
恐妻時代——東宝
市内安い料金
長町　銀映座

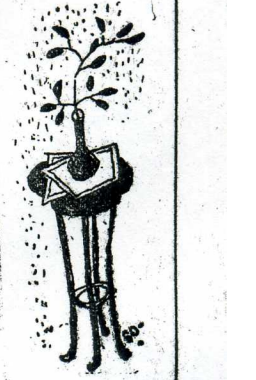
名作小説映画化
林芙美子原作「朱色の眠より」
上原謙・高峰三枝子主演
妻
豪華二本立！
吉川文学不滅の絶品
新書太閤記
市川右太衛門（明智光秀）
木下藤吉郎（役）
21日～27日　第一映画

第三の男の巨匠リードの傑作
14日より
文化果つるところ
中ホ　央ル　一

新東宝が世に問う問題の大作
21日より
憲兵
藤田進
岸恵子
ベストセラーの映画化
中劇

セイコー舎特約店
ＯＳＳ製品特約
商店組合加盟店
大橋時計店
盛岡市材木町
電話七九三番

学芸



山野森林生活から

三C　平井　治

自然（山野森林）は人類の故郷である。

清らかな水をたたえた湖、それを取り囲んだ森林、緑に輝く山、川、青い空、白い雲、雄大な自然に我々人間は憧れる。我々人類の先祖が、原始時代において生活生存するのに必要なことを見出し、それを利用し、そして体得した。それが本能として我々の心の中に潜んでいるのである。現代の物質文明の害毒に侵され、苦しみもがきの中にいる我々が、美しく穢れのない自然に、限りない郷愁を覚えるのだ。

キャンプ生活は無人の原始林に囲まれた森林の中に、外から隔されることのない湖や清流があり原始的気分の満たされる所で行うのが理想的である。フランスの愚連隊ゾーの〝自然に還れ〟は、自然な人間性の吐露であり、山野森林生活をすることによって、物質文明に汚れた身心を文明から隔離し、解毒し、お互の手く何の飾りもない清い心と心の接触。それは何の駈引きもなく個々が協力し、いたわり合い、そして部落を築く完全なる自己発見をなし、身の人間性を発見するものであり、また身の社会生活を見出すものである。

実際、山野森林生活は楽しいものだ。自由な楽しさを持った心だけ自然の中に浸り、詩を吟じ、歌を唱い、また思索し、何の社会的物質的悩みもわれ、創造力を大きく自由に働かせることにより素直な身心の鍛練に有効なものである。

現在、一般に行なわれているキャンピングを見ると、これらの事柄を念頭に置いて行なっているのは少ないようだ。複雑な社会から抜け出て、一時の安慰さを見つけるために山野に出かけるのはよいのだが、唯単に足を延す気休めのためのもので、そこには自然を愛護する心もなく規律のない不衛生な生活のみがあるしたら、そのキャンプは全く無意味なものになって終るだろう。だから自然物を愛護し規律を加えて正しいキャンプをすることが大切なのである。

キャンプ生活において、各人がお互いの人間を知り、協力を知ることについて、今、諸君が四五人のお互いが、全く未知の人と未知の山野森林で、二足の規律のもとに数日間を共にすることを考えて見たまえ。最初は未知同志である故に、お互いに少なからず警戒心を抱き、相手の心を探ろうとう。が、間もなく同一の生活の中に暖かい友情がわき上り、お互いの性質を知り、赤裸々な心と心の交錯によって、最後には水遠の兄弟のような親しさを見い出し、真の人間を見い出し、人生を見出す。そしてそれらは協力の上に悟られることを知るだろう。野営をするのには野営に必要な事柄を知らねばならない。それは実際に野営をして野営の技術を学ぶのであるが、同時に人間生活の真髄を学ぶことが最も重要なのである。

山野森林生活は我々に自発活動創意工夫、節度、協力と規律、観察と推理、自己錬磨等を教える。これらは社会生活、人間生活の基礎をなすものであり、各人の人間完成に役立つものである。

自然を単にすばらしい一幅の絵として見つめるだけでなく自ら自然の雄大さの中にひたり接することによって、一段と美的観念も養われ、万物の調和、大自然の我々に対する恩恵、大自然の威厳と侮蔑も知られ、万物の霊長といわれる人間以上の絶対者を知ることが出来る。そしてまた、大自然からの教育を受け、これらに起因して、真の山野森林生活は、我々青少年の心に宗教的情操をも豊かに育て上げるものである。

僕の趣味

三甲　田村命保

僕は空想を考えることが好きです。それがある物を、ぢっと見つめているのが好きです。そして僕は短歌や俳句をつくるのです。

あるものをおっと見つめてその物の美しい所とか、気にいった所などを探すと短文に作るのです。

僕はこの時、頭に考えがうかんだ時、沼宮内のある風道をバスで来る途中、山道の土手に来たら、土手の中は太陽の光があたって、その光の中にふきのとうが葉をひろげていた。

ゆったりと
中広く流れるもの
それは北上川である

新緑の岸辺を
唯一人遊逝れば
淡い少年の日の感傷が
波紋に織られて展開する

悠々としたその流れは
昔、華麗な文化を興し
今また総合開発の
曙光を浴びてその下に流は
またその上流は
岩手の野にならんとして居る

河原鳩が飛び交い
土壌の土壌が陽に輝やき
渡り来る微風が絶え間なく
此の河の生命は
岩手と共に
永遠の光に続くだろう

『やわらかに柳青める』北上は
今は幽霊の洗礼を受け
朝に夕にその苦しみを
岸辺の柳に物語る

僕はこの時、頭に考えがうかんだ時、沼宮内のある風道をバスで来る途中、山道の土手に来たら、土手の中は太陽の光があたって、その光の中にふきのとうが葉をひろげていた。

ゆったりと
中広く流れるもの
それは北上川である

新緑の岸辺を
唯一人遊逝れば
淡い少年の日の感傷が
波紋に織られて展開する

悠々としたその流れは
昔、華麗な文化を興し
今また総合開発の
曙光を浴びてその下に流は
またその上流は
岩手の野にならんとして居る

河原鳩が飛び交い
土壌の土壌が陽に輝やき
渡り来る微風が絶え間なく
此の河の生命は
岩手と共に
永遠の光に続くだろう

『やわらかに柳青める』北上は
今は幽霊の洗礼を受け
朝に夕にその苦しみを
岸辺の柳に物語る

雲

三丙　生内　忠

いつの間にか夕暮がやって来たそれと共にあの空をおおって居た灰色のヴェールは取り去られ、青い空の上には絶白な絹を織った様な雲や、ふっくらとも上がった雲が、岩手山の方に見える様になった。それを見て居るといつの思いが心の中にくりひろげられて来る。それは小学校一年生の時、僕をとても可愛がって下さった祖母が亡くなった次の日の事である。僕は悲しい気持をまぎらせようと近くの丘に行った。何をしても回りくなく、そのうちに体が疲てくるくなって来たので休もうと思って寝ころがった。そしてぼんやりと空を眺めて居た。その時、僕は山の裏をした雲の傍にある一群の雲が気のせいか祖母の顔の様に見えて来た。そしてその雲が『親の言付を良く守り、又勉強や運動をして、心も身体も人に恥ない立派な人間になれ』と諭して居る様に見えた。僕は思わず『おばあちゃん』と叫んで、雲を見直した。それはただの雲でしかなかった。たけど僕は満足であった。気のせいとはいえ、どこかで祖母が僕を見守って居て下さる様な気がしたからだった。そして、その時の事を思い出すたびにそれを実行しようとする力が沸いて来るのである。その思い出は地球上に雲が有るかぎり僕の心からはなさないであろう。

街路樹

二B　栗栖　保之助

私達は道路を歩いていて、往々に街路樹のあることを知らないでいる事がしばしばある。街路樹はほこりっぽい街の空気をきれいにしてくれる。それなのに、彼等の存在を知らないでいるとは、彼等には何にもたとえられない大きな悲しみであろう。街路樹は私の目の友であり、良い話相手になりいつも話をしてくれる。しかしその話しは、気持をほぐらせるような楽しいものではなく、さびしい自分の孤立生活の話ばかりだ。そのくせ何となく、しんみりとして情操に深くなっているとも、その話しは何にもたとえられない大きな悲しみであろう。街路樹は私の目のように思われることがある。

彼は私と話相手になれない事が時々あった。寒い秋の終りごろ一丁度、山々の緑が、黄色、茶色と変化するころには、彼も緑の葉を追い払って、冬仕度と、とりかかる時である。そして長い冬の間は彼の消息が絶えてしまったかのように、生先の区別が出来なかった位全々分らなかった。この氷期のような冬を彼は自分の死よりも一層強くおそれていた。なぜなら自分の悲しい最後になることを大体予想していたからだ。冬の悪魔が、枝や幹にのりかかって全身に白い衣を着させ凍らせようとするが、小悪魔などには負けられないと頑張っているが、それは彼自身でも半信半疑だった。月日がたって顔子の小悪魔達は他の地を求めて行く時に、今まで低くうつつみかぶった灰色の雲が、太陽にじやまものあつかいの様にされて、雪間から温かい陽が照りだすと、彼のドジョウみたいに、あはれだように急に活発になってくる。ピノキオを作った爺じいさんのオモチャのように——。

このように春の夜の街も、冬からの不景気をどうもとうとして家の屋根や、窓間には、黄と赤と緑の三色ネオンをきらちらしている。この通勤者のネオンが彼を低い目でにらめつづけていた。

レコードのやかましい音が、細いくぼみの溝路を移動して来たりいくぼみの溝路を移動して来たりする。彼は誰にも気づかれない様に、大きな口で、大きな独言をいった。

大黄色いヘッドライトがとんできたりしてまるで夜間労働の鉄工場のような気がする。その鉄工場の最高頂が薄らいでくると、点々と裸電燈の青い光が無断に消えていく。そして窓を集まらせようとする宣伝ざわの三色ネオンもなくなり、何処かの野良犬の小さな群の影も消え、夜廻り番も消え、何もかも消えて見える何ものもなかった。彼は誰にも気づかれない様に、大きな口で、大きな独言をいった。

『どうして俺はこんなにものさびしいのだろう。あの配合色の悪いに三色ネオンの奴には、意地悪くにらまれるし、つやのない茶色の毛のリヤセには足足で踏台にさせられ、おまけに、なまぬるい黄色の小便をひっかけられて——

俺はどうして、こうみんなに馬鹿にされるのだろう。俺は凄くなれた小さな星のようだ。

星がまたたいて一つ流れた。

誰かの命が星のように流れた。

他の商は全く話相手になってくれない、無言の言葉で話をするのか。私には全々分らない。

俺は小さな星だ

俺は小さな星だ

大きな宇宙の大きな星よ、俺も宇宙の中に入れてくれ！　力は大してないが、お前達のお前達よりも大きい。

俺は死んだ星じやない。

彼の言は小さな灯で静かに動く屋台とほのチャラメルのように、コンクリートの低い建物の間を、反響するようにどこまでも響いた。

何と思ったのだろう。三連の白いスズラン燈が物もいわないでにやりと意味のある笑いをした。

空の白い雲の間を、黄色の星が流れておちた。

誰かの命が星のように流れた。

誰も知らない裏街路の小さな出来事だった。

霧の道

二C　吉田　栄一

○
爽かに今朝を飾る白霧の絶え間気高し国見の山

○
春めきし小川の水は底辺より湧りてさやく小草浮くらむ

○
はらはらと桜英を伝ふ鳥あり

○
うたたねの覚めそわびし夕暮は庭訪れなり姑ぶう悩る

○
青根は紫に翔れしが音無かり野路行く風の静かなる夕

○
霞みつつ月の夜更けは静まりて霞重たげに英の花の道

○
軒や雨寒き春の長閑さ

歌詞募集

応援団では応援歌詞及び野球部応援歌詩を左の規定で募集する事になった。

応募規定

資格＝本校生徒たること

規定＝三節以内で明朗にして品位のあるもの

宛先＝中央購買部の投書箱

選者＝応援団及び職員

発表＝石桜新聞二十二号

出来るだけ応歌等の曲を利用し歌詞もそれに順する事。

採用の分には薄謝を呈す

（註）引用曲名を付け加える事。

購入図書

◇昭和文学全集（角川書店）

⑤永井荷風集（洋次、聴章その他十八篇）

⑥小林多喜二、中野重治、徳永直集（蟹工船、歌のわかれ、太陽のない街その他六篇）

⑦志賀直哉集（暗夜行路）

⑧宮本百合子集（伸子、風知草その他六篇）

⑨川端康成集（千羽鶴、山の音その他六篇）

⑩安部能成、天野貞祐、務野晋集（山中雑記、道理の感覚、その他二十七篇）

⑪徳田秋声集（縮図、あらくれ）

◇中学生全集

85な老と爺（柳田国男）

87アジアの歴史上（島山喜一）

91南欧小説集（柏熊達生、金田一男）

99原始林のドクトル（長井真琴）

★各種学習参考書★
サイエンス・スタンダード。
センシャル・各英和・
コンサイス英辞典。
エ和盛岡市町
久保庄書店

【編集室】

僕は今年初めて出版委員になって見たがなかなか面白いと思って働いて居ます。（相井）

僕は皆に選挙されたが、やり方を知らなかったので兄さん達に教えられてやりました。大いにやります。（熊谷）

僕は出版委員に入ってからもう二年になりますが、大変興味を持って仕事をして居ます。（佐々木）

僕は出版委員になって、今も興味をもって仕事をして居ます。（斎藤）

僕は中学二年の時に出版委員になって、今も興味をもって仕事をして居ます。

久しぶりで新聞という仕事についたが仲々面白い。いや宣伝ではありません。今の自分の仕事振りだと後が案じられるが、まずがん張る。（栗栖）

新聞も下級生諸君の協力で新鮮なものになった。

運動の記録などやって見たが、運動の諸君にしかられるかも知れない。悪しからず。（栗谷川）

為す事もなく最上級生とはなった本号よりは下級生諸君が中心となって編集に当ったので何から新鮮な匂いがする事と思います。私は隔月して一年の生活を楽しみたいと思って居ります。（上江米）

応援団幹部の認証式、おめでとう。

壮観会は、原稿締切日までに行なわれず、記事にすることが出来なかったので、投書箱の欄とともに来号に廻すことにした。

多人数での編集のため、なかなか愉快だったが、それだけに苦労も多かった。

次号発行予定は六月下旬

☆杜陵最古の歴史
☆優秀万年筆の店
万年堂
盛岡市中ノ橋通り
電話　二六二一番